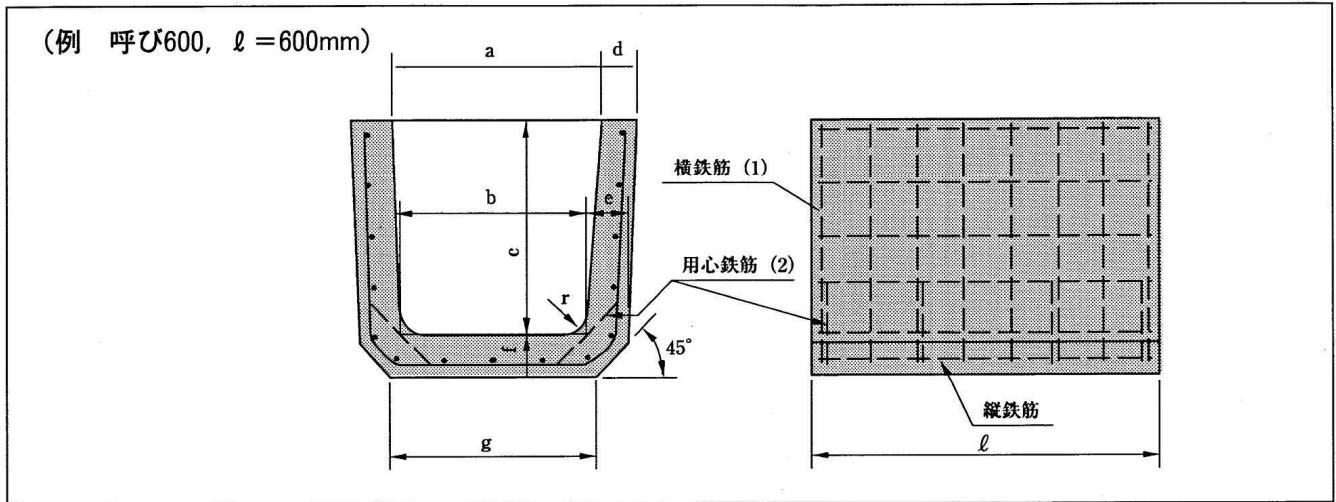


1-7 上ぶた式U形側溝(本体)



JISA5372 附属書E 路面排水溝類 推奨仕様 E-2

1種	主として歩道に設置するもの
2種	車両（後輪一輪 32 kN以下）が隣接して走行することはまれで、走行することがあっても一時待避などで低速で走行するような場所に、車道に平行して設置するもの



注 (1) 横鉄筋の隅角部の折曲げ形状は、規定しない。

(2) 用心鉄筋は、呼び600のU形についてだけ、JIS G 3532に規定する線径6.00mmの普通鉄線を両側に、寸法(l)が600mmの場合は、それぞれ4か所、寸法(l)が1000mmの場合は、それぞれ7か所入れる。

推奨仕様 5-2 表 4 側溝(本体)の形状、寸法、配筋及び寸法の許容差

単位 mm

種	呼び	質量 kg/個 ($l=600$)	寸法								縦鉄筋		横鉄筋			
			a	b	c	d	e	f	g	r	l	径又は 呼び	数量 (本)	径又は 呼び	数量 (本)	
1	150	24	150	140	150	30	35	35	160	30	600 又は 1000	2.60	5	2.60	5	8
	180	34	180	170	180	35	40	40	190	50						
	240	55	240	220	240	45	50	50	240		600	3.20	9	7	6	
	300A	70	300	260	300	50	60	60	300	70						4.00
	300B	79			360						65	65	360			
	300C	92	300	360	65	360										
	360A	90	360				310	300	70	70	70	430	D6 ⁽³⁾	15	D6 ⁽³⁾	8
	360B	100		300												
	450	134	450	400	450	55	70	70	430	70	4.00	13	5.00	8		
600	209	600	540	600	70	80	80	600	70	D6 ⁽³⁾	15	D6 ⁽³⁾	8			
許容差			±2	±3	±2		±3		—	±3 ⁽⁴⁾	—					
規格外	100	19	100	90	100	20	25	25	120	30	1000	2.60	5	2.60	—	8
	120	27	120	110	120	25	30	30	140							

注(3) JIS G 3112に規定する呼び D6 の棒鋼の代わりに、JIS G 3532に規定する線径6.00mmの普通鉄線又は線径 6.00 mm若しくは公称線径 6.00 mmのコンクリート用鉄線、又はJIS G 3551に規定する溶接金網の線径 6.00 mmの丸鉄線を使用してもよい。

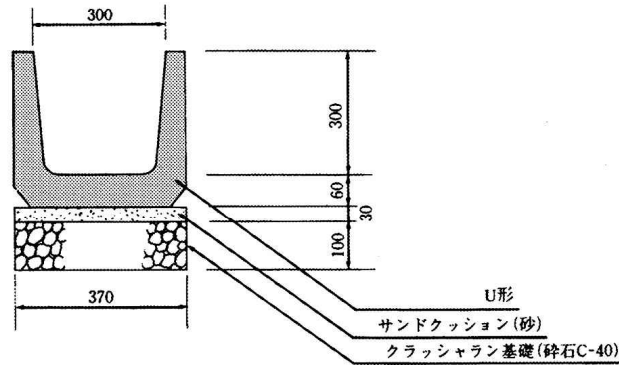
(4) 寸法 (l) が 1000 mm の場合の許容差は、±5 mm とする。

1-7 上ぶた式U形側溝(本体)



施 工

布設標準構造図 (蓋掛けしない場合、もしくは輪荷重を受けない蓋掛けの場合)



(注) 輪荷重を受ける蓋掛けの場合は、コンクリート基礎が必要である。

(建設工業標準歩掛・建設物価調査会)

U形の布設工事歩掛

呼 称	1個当り質量 (kg/個)	世 話 役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	トラッククレーン賃料		諸雑費率 (%)
					(日)	(規格)	
本 体 (ℓ=600) 10m当り	50未満	0.2	0.2	0.5	-	人 力	5
	50以上～ 80以下	0.4	0.4	0.8			
	80超 ～300以下	0.4	0.4	1.1	0.2	湯圧式4.8t～4.9t吊り	

1. 歩掛は、運搬距離30m程度までの小運搬を含む標準据付作業であり、床掘、埋戻しは含みません。
2. 敷モルタル、敷砂は別途必要量を計上します。
3. 諸雑費は、コンクリートカット運転、目地モルタル、コンクリート側溝損失分の費用及びコンクリートカットブレードの損耗費であり、労務費及びトラッククレーン賃料の合計額に上表の率を上限として計上します。